

2025年度
応用化学科 4年次生
説明資料

応用化学科教務委員 村山・山口

お知らせの周知方法について

- ・学科から学生への連絡は学科専用SNSで行われています
- ・Viva Engageと呼ばれるSNSで、スマートフォンやWebブラウザでアクセスできます
- ・教員への質問もこのSNSでできます

相談窓口について

- ・相談先が分からない場合はクラス担任へ連絡しましょう
- ・学科へ匿名で相談したい場合は下記リンク先へ
<https://forms.office.com/r/4Q4MG1ddj5>

学生のみ利用できます

修得単位数が普通な学生

1年

2年

3年

4年

卒業: 124単位以上

42

40

35

7単位

「卒業研究」6単位(通年)

前期「総合化学ゼミ」1単位

現時点での不足単位数を確認

前期末成績表

成績表の見方

区 分	卒業要件	前年度末修得	当年度修得単位	計	卒業不足単位数	卒研不足単位数
基礎系	1		() 1	() 1	()	
倫理系	2		()	()	(2) 2	
人文社会必修	2		() 2	() 2	()	
人文社会選択	8		()	()	(8) 8	
倫理人社自由	2		()	()	(2) 2	
健康スポーツ系	1		() 1	() 1	()	
英語基礎系	4		() 1	() 1	(3) 3	
言語応用系	3		()	()	(3) 3	
数理情報系	6		() 6	() 6	()	
キャリア系	3		() 1	() 1	(2) 2	(14) 14
			()	()	()	
専門導入必修	—		()		()	
専門導入選必	—		()		()	
専門導入選択	—		()		()	
専門基礎必修	12		()		(7) 7	
専門基礎選必	—		()		()	
専門基礎選択	—		()		()	
専門 必修	11		()	()	(11) 11	
専門 選必	6		()	()	(6) 6	
専門 選択	—		()	()	()	
専門教育選択	46		()	()	(46) 46	(45) 45
任意	17		()	()	(17) 17	
総合計	124		() 17	() 17	(107) 107	(87) 87

「不足単位数」

卒研究生は卒業不足が
卒研の6単位以外は
無いかごく少数が望ましい

卒研着手条件科目不足科目数 (7)

GPA 学期末 (2.16) 累計 (2.16)

(注1) 当年度修得単位および計の () は、通年科目履修中の中間合格単位で外数。

(注2) 卒業不足単位数の () は、通年科目履修中の中間合格単位を含んだ不足単位数。

単位が不足している学生へ

どの科目が必要なのか
分からない場合は
担任に相談しましょう

卒研以外に単位を必要とする人へ

後期に履修追加もできます

授業に出席しつつ

後期科目の履修修正期間
(今月中)に修正しましょう

卒研中間発表会について

今年度は対面ポスターで行います

詳細はVivaEngageとteamsで
通知済み

卒業研究に関して、その他

○卒研の週報または月報の提出

- ・コンタクトタイム、研究活動時間の総時間数に注意

Jコース生は、卒研終了時にコンタクトタイム140時間

以上が必要

Aコース生は、卒研終了時に

研究活動時間 **600時間**以上が必要

Tコース生は、学会発表が1回以上必要

○卒業研究発表会について

- ・例年におけるスケジュール(参考)

1/末～2/頭ごろ 卒研発表要旨(A4版1枚)提出

2/3

卒業研究発表会

(⇒確定です。必ず発表すること)

2～3月

卒業論文提出

卒業研究に関して

○相談したいことが起きたら

- ・まず卒研担当教員へ



事情がある場合、学科長(森川先生)または教務委員でも可



それでも解決できない場合は、応用化学科の他の教員へ

- ・教員に相談しにくい場合は、学生相談室や学生課へ
- ・匿名で相談したい場合は、下記リンク先へ

<https://forms.office.com/r/4Q4MG1ddj5>

研究で不正行為をしないこと

○研究の財源について

私立大学も重要な財源(研究を含めた運営費用)として国家から多額の税金・補助金を受けており、また国や企業から研究費を受託して実施している研究もある。不正行為を行うことは、これらの大切なお金を不正に利用していることである、とも言える。

○科学における不正行為とは

不正行為とは、研究者倫理に背馳(はいち)し、研究活動、研究成果の発表において、その本質ないし本来の趣旨を歪め、研究者コミュニティの正常な科学的コミュニケーションを妨げる行為に他ならない。得られたデータや結果の捏造、改ざん、及び他者の研究成果等の盗用に加え、同じ研究成果の重複発表、論文著作者が適正に公表されない不適切なオーサiershipなどが不正行為の代表例と考えることができる。(文科省ガイドライン)

捏造：ありもしない実験データ、写真等を生み出してしまうこと

改ざん：得られた結果を研究者の都合のよいように変えてしまうこと

盗用：他人の成果を自分のものとする事

インターネット利用における注意事項

インターネットの特徴：

情報伝達が簡単で時空をも超え、
データが残るときは残り続ける

ネット上での被害者とならないために

自身を特定されないようにするには

- ・出来る限りフルネームを載せない
- ・詳しい写真を載せない
- ・日々の行動も載せない
- ・信頼できる場合でも期間限定で
- ・匿名サービスを信用しない
(通信経路等からは辿れる)
- ・不特定多数の人が参加できる場に
注意する
- ・アカウント名は使いまわさない
- ・ネットのみの人間関係は避ける

ネット上での加害者とならないために

簡単に訴えられる時代です

- ・攻撃的なことは発信しない
- ・事実であっても悪口を発信しない
- ・他人の個人情報を発信しない
- ・他人の発言を安易に再発信しない
- ・非公開設定を信用しない
(人為的ミスで解除されることも)
- ・削除してもサーバからは消えない
(見えなくなるだけ)
- ・人生には回復不能な節目がある
(就活、進学、試用期間など)

最後に

残りの半年を最後までしっかり頑張ってください(結果のよし悪しだけでなく)

卒業したら研究すること・機会はまず無い。研究する最後の時期。

・ガイダンス終了後、卒研担当教員と確認すること

⇒ 残り単位が大丈夫か、
あと卒研だけか。

おしまい、